

環境庁殿

試 験 報 告 書

2-メチル-2-プロペンアミドのオオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験

(試験番号:NMMP/E99/3020)

平成12年12月11日作成

株式会社 東レリサーチセンター

最終報告書変更届

(変更届番号:NMMP/E99/3021)

(株)東レリサーチセンター 名古屋研究部において作成した最終報告書の内容に変更を生じたので変更届を作成する。

—記—

I. 変更する最終報告書

平成11年度生態影響試験 最終報告書

試験番号 :NMMP/E99/3020

試験名 :2-メチル-2-プロペンアミドのオオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する
繁殖阻害試験

試験責任者 :株式会社 東レリサーチセンター 名古屋研究部

運営管理者 :株式会社 東レリサーチセンター 名古屋研究部

試験委託者 :環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課環境リスク評価室
室長補佐

II. 変更項目, 変更時期及び変更理由

2頁に記載.

III. 署名, 承認

3頁に記載.

II. 変更項目, 変更時期及び変更理由

頁(行)	変更前	変更後	変更時期	変更理由
p.24 Table 7 脚注	*1 : Indicates a significant difference by <u>Dunnett multiple comparison</u> procedure,Two-sided test.	*1 : Indicates a significant difference by <u>F&t-test</u> procedure,Two-sided test.	2002 年 2 月	入力ミス

Ⅲ. 署名, 承認

変更届作成日 : 2002 年 2 月 8 日

試験責任者(変更届作成者)

: [redacted] (2002 年 2 月 8 日)

QAU 担当者 確認 : [redacted] (2002 年 2 月 8 日)

運営管理者 承認 : [redacted] (2002 年 02 月 08 日)

試験委託者: 環境省

委託責任者

総合環境政策局環境保健部環境安全課環境リスク評価室 室長補佐

承認 : [redacted] (2002 年 2 月 18 日)

陳 述 書

株式会社 東レリサーチセンター
名古屋研究部

試験委託者 : 環境庁

表題 : 2-メチル-2-プロペンアミドのオオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験

試験番号 : NMMP/E99/3020

上記試験は環境庁のGLP規則に従って実施したものである。

平成 / 2 年 12 月 22 日

運営管理者

_____ 

信 頼 性 保 証 証 明

株式会社 東レリサーチセンター
名古屋研究部

試験委託者 : 環境庁

表題 : 2-メチル-2-プロペンアミドのオオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験

試験番号 : NMMP/E99/3020

本試験は試験計画書および標準操作手順書に従って実施され、本報告書には試験に使用した方法、手順が正確に記載されており、試験結果は生データを正確に反映していることを下記の通り確認した。

記

	実施日	運営管理者および 試験責任者への報告日
試験実施状況査察	平成12年2月1日	平成12年2月7日
試験報告書監査	平成12年4月11日	平成12年10月24日

















平成12年12月22日

信頼性保証業務担当者

試験実施概要

1. 表題 :2-メチル-2-プロペンアミドのオオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験
2. 試験目的 :2-メチル-2-プロペンアミドについて、オオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験を 21 日間行い、最小作用濃度(LOEC)と最大無作用濃度(NOEC)を求め、可能な限り 50%繁殖阻害濃度(EC50)も求める。
3. 適用ガイドライン :本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。
4. 適用GLP :本試験は環境庁のGLP規則に準拠した。
5. 試験委託者
名称 :環境庁
住所 :〒100-8975) 東京都千代田区霞が関一丁目2-2
委託責任者 :企画調整局環境保健部環境安全課環境リスク評価室 室長補佐 XXXXXXXXXX
6. 試験受託者
名称 :株式会社 東レリサーチセンター
所在地 :〒103-0022) 東京都中央区日本橋室町3-1-8 都ビル内
7. 試験施設
名称 :株式会社 東レリサーチセンター 名古屋研究部
所在地 :〒455-8502) 愛知県名古屋市港区大江町9-1

8. 試験関係者:

試験責任者			(平成 12 年 12 月 21 日)
試験担当者			(平成 12 年 12 月 21 日)
試験担当者			(平成 12 年 12 月 21 日)
試験担当者			(平成 12 年 12 月 21 日)
試験担当者			(平成 12 年 12 月 21 日)
試験担当者			(平成 12 年 12 月 21 日)
試験担当者			(平成 12 年 12 月 21 日)
試験担当者			(平成 12 年 12 月 21 日)

9. 試験期間: 試験開始日 平成 11 年 11 月 16 日
 暴露期間 平成 12 年 2 月 1 日 ～ 平成 12 年 2 月 22 日
 試験終了日 平成 12 年 12 月 21 日

10. 保管:

~~試験計画書、生データ、記録文書および試験報告書は、試験報告書作成後10年間、株式会社~~
~~東リリサーチセンター名古屋研究部の保管施設に保管する。その後の保管については試験委託者~~
~~と協議のうえ決定する。~~ 訂正

Ⅱ. 変更項目, 変更時期及び変更理由

頁(行)	変更前	変更後	変更時期	変更理由
P.5 (下から4行)	10. 保管: 試験計画書、生データ、記録文書および試験報告書は、試験報告書作成後10年間、株式会社 東レリサーチセンター名古屋研究部の保管施設に保管する。その後の保管については試験委託者と協議のうえ決定する。	10. 保管: 試験計画書、生データ、記録文書および試験報告書は、試験報告書作成後10年間、株式会社 東レリサーチセンター名古屋研究部の保管施設あるいは当社研究部の査察・監査のもとに外部保管施設である株式会社ワンビシアーカイブズに保管する。その後の保管については試験委託者と協議のうえ決定する。	2002 年 7 月	今後、当研究部試資料保管施設の保管容量が不足するため、外部保管施設である株式会社ワンビシアーカイブズを利用する。

Ⅲ. 署名, 承認

変更届作成日 : 2002 年 07 月 11 日

試験責任者(変更届作成者)

: [redacted] (2002 年 07 月 11 日)

QAU 担当者 確認 :

[redacted] (2002 年 07 月 11 日)

運営管理者 承認 :

[redacted] 2002 年 07 月 11 日)

試験委託者: 環境省

委託責任者

総合環境政策局環境保健部環境安全課環境リスク評価室 室長補佐

承認 : [redacted] (2002 年 8 月 5 日)

目 次

	頁
要 旨	7
1 被験物質	9
1.1 名称、構造式および物理化学的性状	9
1.2 供試試料	9
1.3 被験物質の確認、保管方法および保管条件下での安定性	9
2 供試生物	10
3 試験方法	10
3.1 試験条件	10
3.2 希釈水	11
3.3 試験容器および恒温槽等	11
3.4 試験濃度の設定	11
3.5 試験液の調製	11
3.6 試験液の分析	12
3.7 試験操作	12
4 結果の算出	13
4.1 親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) の算出	13
4.2 50%繁殖阻害濃度 (ErC50) の算出	13
4.3 最大無作用濃度 (NOECr) および最小作用濃度 (LOECr)	13
5 結果および考察	14
5.1 試験成績の信頼性に影響を及ぼしたと思われる環境要因	14
5.2 試験液中の被験物質濃度	14
5.3 ミジンコの観察結果	14
5.4 親ミジンコの半数致死濃度 (LC50)	15
5.5 50%繁殖阻害濃度 (ErC50)	15
5.6 累積産仔数に及ぼす最大無作用濃度 (NOECr) および最小作用濃度 (LOECr)	15
5.7 試験液の水温、溶存酸素濃度、pH および全硬度	15
Table 1-1~11	16~28
Figure 1,2	19,22
付属資料-1 希釈水 (M4 調製水)	29
付属資料-2 試験液の分析方法	31
付属資料-3 ミジンコの観察結果	37

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題2-メチル-2-プロペンアミドのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験試験番号

NMMP/E99/3020

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| 1) 被験物質 | : 2-メチル-2-プロペンアミド |
| 2) 暴露方法 | : 半止水式(3回/週、試験液の全量を交換) |
| 3) 供試生物 | : オオミジンコ (<i>Daphnia magna</i>) |
| 4) 暴露期間 | : 21 日間 |
| 5) 試験濃度 | : 対照区、100.0mg/L(設定濃度)限度試験 |
| 6) 試験液量 | : 1容器(連)につき 80 mL |
| 7) 連数 | : 10 容器(連)/濃度区 |
| 8) 供試生物数 | : 10 頭/濃度区(1連につき 1 頭) |
| 9) 試験水温 | : 20±1℃ |
| 10) 照明 | : 室内光、16 時間明/8 時間暗 |
| 11) 被験物質の分析 | : GC法 |

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

実測濃度が設定濃度の±20%以内であったので結果の算出には設定濃度を用いた。

2) 21 日間の親ミジンコの半数 致死濃度 (LC50)

: >100mg/L

3) 21 日間の 50% 繁殖阻害濃度 (ErC50)

: >100mg/L

4) 21 日間の最大無作用濃度 (NOECr) : >100mg/L

5) 21 日間の最小作用濃度 (LOECr) : >100mg/L

(上記濃度は、設定濃度に基づく値である)

1 被験物質

1.1 名称、構造式および物理化学的性状

名 称	:2-メチル-2-プロペンアミド 別名:メタクリルアミド、識別符号:MP、CAS:79-39-0
構造式	: $\text{CH}_2=\text{C}(\text{CH}_3)\text{CONH}_2$
分子式	: $\text{C}_4\text{H}_7\text{NO}$
分子量	:85.11
融点	:109℃
沸点	:215℃
水への溶解度	:41g/100g (30℃)

〔上記の数値は、次のデータベースおよび「11290の化学商品」化学工業日報社から引用した〕

ECDIN :Environmental Chemicals Data Information Network

1.2 供試試料

純度	:98%以上
ロット番号	:D12358J
供給者	: XXXXXXXXXX
供給量	:25g×2本
入手日	:平成11年9月17日
外観	:白色粉末

1.3 被験物質の確認、保管方法および保管条件下での安定性

1)保管方法

被験物質は光を遮断した試料保管庫に室温で保管した。

2)被験物質の確認および保管条件下での安定性

入手した被験物質について赤外吸収スペクトル、NMRスペクトルの測定およびGC分析を行い、被験物質の構造と矛盾が認められないことおよび純度を確認した。試験終了時にも同様に測定・分析し、試験開始前に測定・分析したスペクトルおよびクロマトグラムと比較した結果、変化はなかった。

従って、被験物質は当研究部の試料保管庫に保管中は安定であったと判断された。

2 供試生物

試験には生後24時間以内のオオミジンコ(*Daphnia magna*)の幼体を用いた。

本種は、平成 7年11月15日国立環境研究所より入手したものを、当研究部において継代飼育しているものである。また、基準物質(重クロム酸カリウム、試薬特級)による48時間の半数遊泳阻害濃度(EiC50)は 0.60 mg/Lであった。

供試する幼体を得るためのミジンコの飼育方法

継代中のものから幼体を抱えた肉眼的に健康かつ十分な大きさの雌成体を選別して、別に用意したビーカーに移し、翌日に産出された幼体を別のビーカーに分けた。この幼体(平成12年1月5日生まれ)を供試ミジンコの親とし、以下の条件で飼育した。成熟し幼体を産むようになったら、1週間に少なくとも2回以上幼体を除去した。3週目に入り暴露開始前日に、その前27日間の死亡率が0.0%で休眠卵や雄が発生しなかったバッチから、育房内に幼体を持つ雌成体を選別し、翌日(24時間以内)産出された幼体を試験に用いた(平成12年2月1日暴露開始)。

飼育水	: 希釈水 (3.2参照)
飼育密度	: 20～50 頭/L 飼育水(但し、成熟個体の場合は、25頭以下/Lとした)
水温	: 20±1℃
照明	: 室内光、16時間明/8時間暗
餌	: <i>Chlorella vulgaris</i> (藻類培養液を遠心操作により、人工軟水*に置換して給餌した) * 蒸留水 1L 当たり、CaCl ₂ ·2H ₂ O 26.1mg、MgSO ₄ ·7H ₂ O 17.7mg、K ₂ SO ₄ 1.1mg、NaHCO ₃ 25.0mg を溶解して調製する。
給餌量	: ミジンコ1頭当たり0.1～0.2 mgC(有機炭素含量)/日

3 試験方法

3.1 試験条件

- 1) 暴露方法 : 暴露は半止水式で行い、1週間に3回、試験液を全量交換した。
- 2) 暴露期間 : 21 日間
- 3) 試験液量 : 80 mL/容器
- 4) 連数 : 10 容器/濃度区
- 5) 供試生物数 : 10 頭/濃度区(1 頭/容器)
- 6) 試験水温 : 20±1℃
- 7) 照明 : 室内光、16 時間明/8 時間暗

- 8) 餌 : *Chlorella vulgaris*
 9) 給餌量 : ミジンコ1頭当たり 0.1~0.2 mgC(有機炭素含量)/日

3.2 希釈水

OECD 改訂ガイドライン No.211 オオミジンコ繁殖阻害試験—1998年9月採択に記載してある調整水を用いた。希釈水の全硬度は254mg/L(CaCO_3 換算)、pHは7.6であった。

[付属資料-1 (p.29)]

3.3 試験容器および恒温槽等

- 試験容器 : 100mL容、ガラス容器
 恒温槽 : 恒温水槽および水循環装置(ヤマト科学 クールライン CL100)
 水温計 : pH計内蔵温度計(堀場製作所 カスタニーLAB pHメーター F-22)
 pH計 : 堀場製作所 カスタニーLAB pHメーター F-22
 溶存酸素計 : 堀場製作所 DOメーター OM-14
 電気伝導率計 : 全硬度測定(東亜電波 ポータブル電気伝導率計 CM-14P)

3.4 試験濃度の設定

オオミジンコに対する48時間急性遊泳阻害試験の結果(48hr-EiC50値 : >1000mg/L)から、100.0mg/Lの1濃度で限度試験とした。

(対照区、100.0mg/L)

3.5 試験液の調製

- 1) 試験開始前に調製した被験物質 5000mg/L原液を換水毎に希釈水に添加し、設定濃度の試験液を必要量調製した。
- 2) 希釈水のみ対照区を設けた。
- 3) 1濃度区につき10個の試験容器を用意し、各試験容器に試験液を80mLずつ入れた。
- 4) 試験液の状態(外観等)を記録した。無色透明で沈殿等は見られなかった。

3.6 試験液の分析

全濃度区(但し、各1試験容器)について、暴露期間中に3回(調製時および換水前で1回)、即ち試験開始時(0日目)、6日目および15日目の試験液調製時とそれぞれの2日後(換水前)に各ビーカーより試験液 1.5mLを採取し、GC分析により被験物質濃度を分析した。試験液の分析に際しては、測定日毎に標準溶液(濃度 100.0mg/L)の測定を行い、検量係数を求めて被験物質濃度を測定した。

詳細は付属資料-2(p.31)に示した。

3.7 試験操作

試験液の水温、溶存酸素濃度(D.O.)、pHおよび全硬度を測定後、先端を太くしたピペッターを用いて供試ミジンコを投入し、その時点を暴露開始時とした。その際、ピペッター内の飼育水が全量で試験液量に対して、1%以内となるようにした。その後、換水毎にミジンコを新しい試験液に移しかえ、21日後まで飼育した。暴露期間中は毎日一定量の給餌を行った(3.1参照)。

・ミジンコの観察:

(親ミジンコ) 生死、遊泳状態および外観の異常の有無を毎日観察して、記録した。計数後の死亡個体は取り除いた。

(産出幼体) 最初の産仔から毎日幼体の生存数を計数し、計数後の幼体は取り除いた。死亡幼体、墮胎卵、休眠卵の発生等についてはその有無を毎日観察し記録した。最初の幼体産出日を、初産日として記録した。

・水質測定 : 水温、溶存酸素濃度(D.O.)、pHおよび全硬度を、全濃度区(但し、各1試験容器)について、暴露期間中に3回(調製時および換水前で1回)換水前後に測定した。

4 結果の算出

4.1 親ミジンコの半数致死濃度(LC50)の算出

濃度区での親ミジンコの死亡数と供試個体数(10頭)を用いて、親ミジンコの死亡率を求めた。限度試験のため、濃度区において死亡率が50%未満の場合は21日間の半数致死濃度(LC50)は濃度区以上とした。

4.2 50%繁殖阻害濃度(ErC50)の算出

濃度区での生存親1頭当たりの平均累積産仔数(生存幼体)を用いて、21日間の繁殖阻害率を求めた。限度試験のため、濃度区において繁殖阻害率が50%未満の場合は21日間の50%繁殖阻害濃度(ErC50)は濃度区以上とした。

4.3 最大無作用濃度(NOECr)および最小作用濃度(LOECr)

濃度区での生存親1頭当たりの平均累積産仔数(生存幼体)を算出した。対照区と濃度区について、F&t-testにより比較した。対照区と濃度区に有意な差が認められない場合は対照区と有意差の認められない最高濃度(最大無作用濃度: NOECr)および有意差の認められる最低濃度(最小作用濃度: LOECr)はいずれも濃度区以上とした。

F&t-testにはYukms StatLight#3 2群の比較を用いた。

5 結果および考察

5.1 試験成績の信頼性に影響を及ぼしたと思われる環境要因

なし。

5.2 試験液中の被験物質濃度

暴露開始時(0日目)、6日目および15日目の試験液調製時の被験物質濃度は92.5～104.1 mg/L(設定濃度100.0mg/L)であり、設定濃度に対する割合は92.5～104.1%であった。また、それらの2日後、換水前の濃度は91.3～100.2mg/Lであり、設定濃度に対する割合は100.2～100.2%であった。

[Table 1-1(p.16), Table 1-2(p.17), 付属資料-2(p.31)]

実測濃度が設定濃度の±20%以内であったので結果の算出には設定濃度を用いた。

5.3 ミジンコの観察結果

親ミジンコの死亡数および死亡率

対照区での親ミジンコの死亡率は、暴露終了時で10%であり、試験成立条件である20%以下の基準を満たした。

濃度区(100.0mg/L)では暴露終了時の親ミジンコの死亡数、2。死亡率は、20%であった。

[Table 2-1, 2-2(p.18), Figure 1(p.19)]

初産日

対照区での親ミジンコの初産日は暴露開始7～20日後であった。濃度区(100.0mg/L)での親ミジンコの初産日は暴露開始7～17日であった。

[Table 3(p.20)]

平均累積産仔数

対照区の21日間での親ミジンコ1頭当たりの平均累積産仔数は66.6頭であり、試験成立条件である60頭以上の基準を満たした。

濃度区(100.0mg/L)の21日間での親ミジンコ1頭当たりの平均累積産仔数は66.1頭であった。

[Table 4(p.21), Figure 2(p.22), 付属資料-3(p.37)]

休眠卵の発生等

対照区、濃度区において、休眠卵は生じなかった。

5.4 親ミジンコの半数致死濃度(LC50)

21日間暴露の親ミジンコの半数致死濃度(LC50)は>100mg/Lであった。 [Table 5 (p.23)]

5.5 50%繁殖阻害濃度(ErC50)

21日間暴露の50%繁殖阻害濃度(ErC50)は>100mg/Lであった。 [Table 6 (p.23)]

5.6 累積産仔数に及ぼす最大無作用濃度(NOECr)および最小作用濃度(LOECr)

親ミジンコ1頭あたりの累積産仔数に及ぼす21日間の最大無作用濃度(NOECr)は>100mg/Lであり、最小作用濃度(LOECr)も>100mg/Lであった。 [Table 7 (p.24)]

5.7 試験液の水温、溶存酸素濃度、pHおよび全硬度

21日間の暴露期間中の水温は19.7～20.6℃であり、設定範囲(20℃±1℃)内であった。

溶存酸素濃度は8.0～9.1mg/Lであり、全ての濃度区で飽和溶存酸素濃度の60%以上が維持された(20.0℃の飽和溶存酸素濃度:8.84mg/L)。

pHは7.5～8.0であり、暴露試験期間中のpH変動は、1.5以内であった。

全硬度は245～254mg/L(CaCO₃換算)であり、設定範囲(140mg以上/L(CaCO₃換算))内であった。 [Table 8(p.25),Table 9(p.26),Table 10(p.27),Table 11(p.28)]

以上のことから、水温、溶存酸素濃度、pHおよび全硬度についてはミジンコの生育条件として適切な範囲であったと思われる。

以上

Table 1-1 Measured Concentrations of 2-Methyl-2-propenamide during a 21-day Exposure of *Daphnia magna* under Semi-Static Test Conditions

Nominal Concentration (mg/L)	Measured Concentration (mg/L)		Percent of Nominal	
	0 day new	2 day old	0 day new	2 day old
Control	<0.5	<0.5	–	–
100.0	92.5	91.3	92.5	91.3

Nominal Concentration (mg/L)	Measured Concentration (mg/L)		Percent of Nominal	
	6 day new	8 day old	6 day new	8 day old
Control	<0.5	<0.5	–	–
100.0	99.5	93.6	99.5	93.6

Nominal Concentration (mg/L)	Measured Concentration (mg/L)		Percent of Nominal	
	15 day new	17 day old	15 day new	17 day old
Control	<0.5	<0.5	–	–
100.0	104.1	100.2	104.1	100.2

new :freshly prepared test solutions

old :test solutions after 2 days exposure

Table 1-2 Time-weighted Means of Measured Concentrations of 2-Methyl-2-propenamide during a 21-day Exposure of *Daphnia magna* under Semi-Static Test Conditions

Nominal Concentration (mg/L)	Time-weighted Mean (mg/L)	Percent of Nominal (%)
Control	–	–
100.0	96.9	96.9

$$\text{Time-weighted Mean} = \frac{\text{Total Area}}{\text{Total Days}}$$

$$\text{Area} = \frac{\text{Conc0} - \text{Conc1}}{\text{Ln}(\text{Conc0}) - \text{Ln}(\text{Conc1})} \times \text{Days}$$

Conc0 is the measured concentration at the start of each renewal period.

Conc1 is the measured concentration at the end of each renewal period.

Days is the number of days in the renewal period.

Table 2-1 Cumulative Numbers of Dead Parental *Daphnia*

Nominal Concentration		Days																					
(mg/L)		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
Control		0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
100.0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2

Table 2-2 Mortality (%) of Parental *Daphnia*

Nominal Concentration		Days					
(mg/L)		1	2	4	7	14	21
Control		0	0	10	10	10	10
100.0		0	0	0	0	0	20

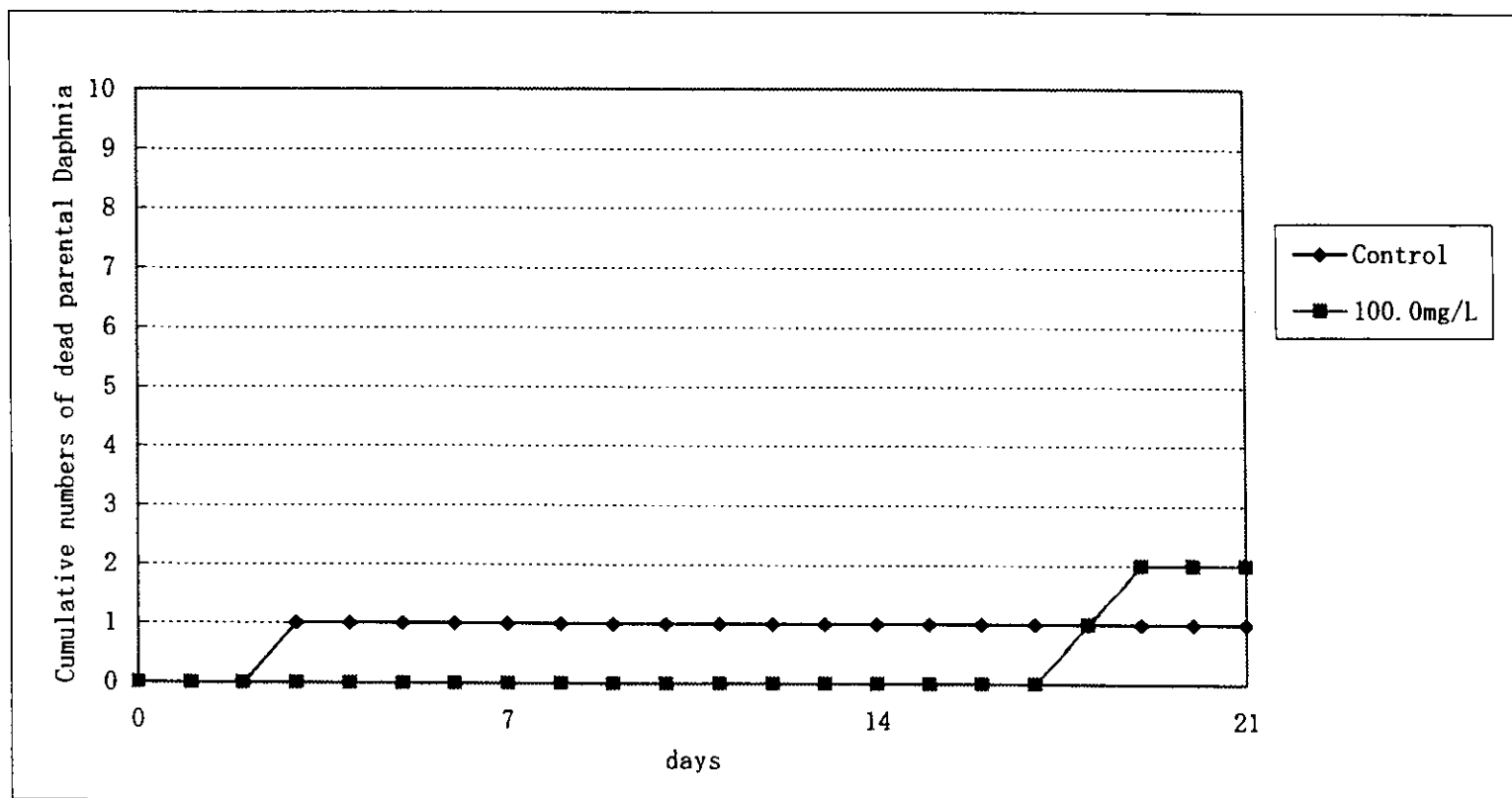
Figure 1 Cumulative Numbers of Dead Parental *Daphnia*

Table 3 Time (day) to First Brood Production

Vessel No.	Control	Nominal concentration (mg/L)
		100.0
1	8	13
2	11	17
3	7	-
4	18	8
5	8	11
6	20	7
7	13	11
8	10	17
9	-	11
10	11	-
Mean	11.8	11.9

Table 4 Mean Cumulative Numbers of Juveniles Produced per Adult ($\Sigma F1/P$)

Nominal Concentration (mg/L)	Days																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
Control	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.9	0.9	1.3	4.0	4.0	12.4	18.4	18.4	25.4	39.1	39.4	43.8	64.2	66.6
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	0.9	0.9	3.8	3.8	4.8	6.8	6.8	6.8	31.6	31.6	31.6	66.1	66.1

Figure 2 Mean Cumulative Numbers of Juveniles Produced per Adult ($\Sigma F1/P$) during 21 days

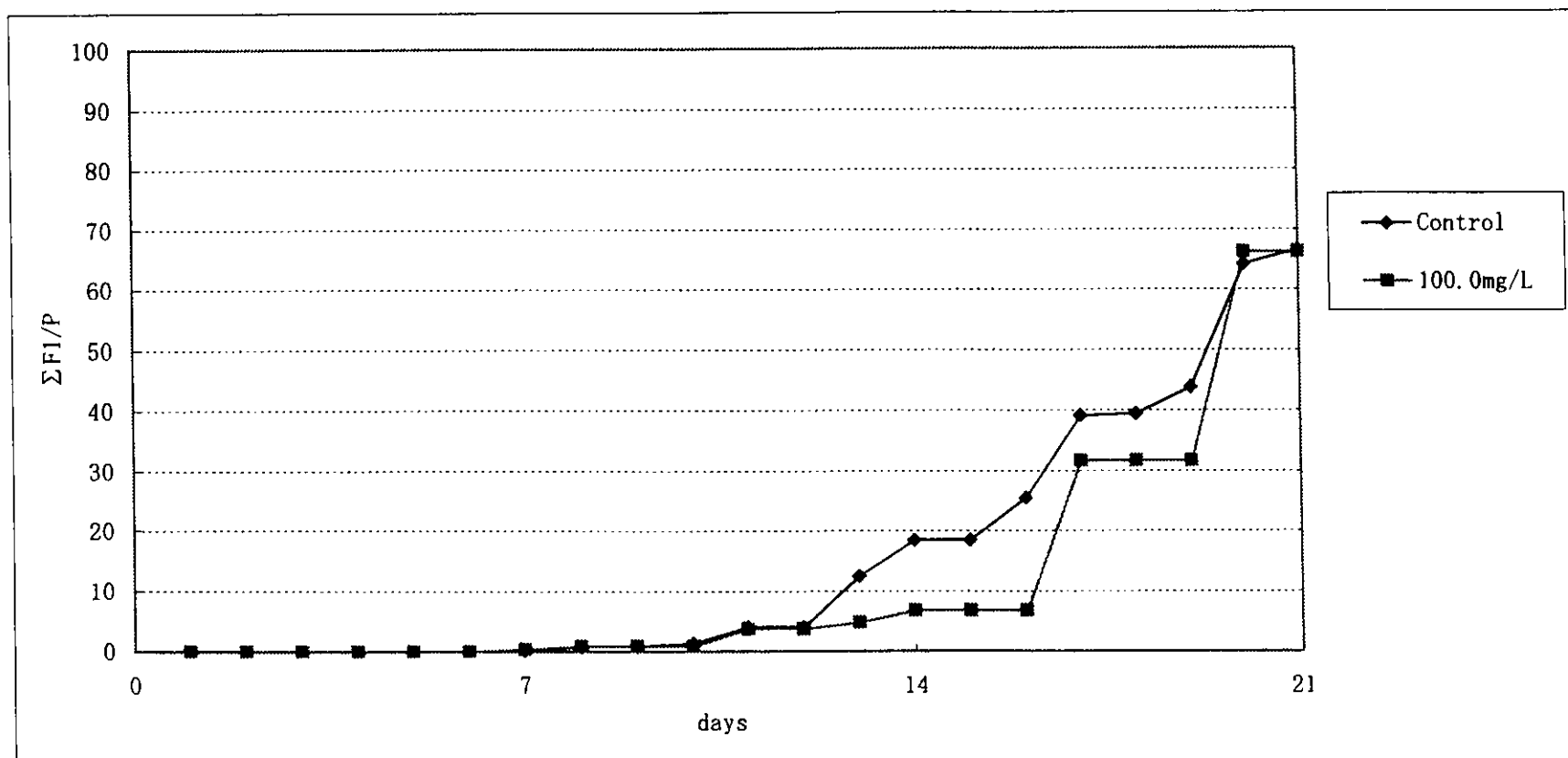


Table 5 Calculated LC50 Value for Parental *Daphnia*

Exposure Period (day)	LC50 (mg/L)	95 % Confidence Limits (mg/L)	Statistical Method
21	>100	—	—

Table 6 Calculated ErC50 Value for Inhibition of Reproduction

Exposure Period (day)	ErC50 (mg/L)	95 % Confidence Limits (mg/L)	Statistical Method
21	>100	—	—

Table 7 Cumulative Numbers of Juveniles Produced per Adult Alive for 21 Days

Vessel No.	Control	Nominal Concentration (mg/L)
		100.0
1	51	39
2	71	74
3	42	—
4	24	51
5	109	57
6	7	78
7	114	92
8	66	64
9	—	74
10	115	—
Mean	66.6	66.1
S.D.	39.72	16.85
Inhibition rate(%)		0.8
Significant difference*1		

— : Were not calculated because the parental *Daphnia* was dead during a 21-days testing period.

*1 : Indicates a significant difference by Dunnet multiple comparison procedure, Two-sided test.

* : Indicates a significant difference ($\alpha=0.05$) from the control.

** : Indicates a significant difference ($\alpha=0.01$) from the control.

*** : Could not be calculated because more than 7 parental *Daphnia* were dead after 21 days testing period.

Table 8 Temperature Values during a 21-day *Daphnia* Reproduction Inhibition Test (Semi-Static Test)

Nominal Concentration (mg/L)	Temperature(°C)					
	0 day new	2 day old	6 day new	8 day old	15 day new	17 day old
Control	20.4	20.0	19.9	20.1	19.7	20.0
100.0	20.6	19.9	20.4	19.9	19.9	19.8

new :freshly prepared test solutions

old :test solutions after 2 days exposure

Table 9 Dissolved Oxygen Concentration (D.O.) during a 21-day *Daphnia* Reproduction Inhibition Test (Semi-Static Test)

Nominal Concentration (mg/L)	Dissolved Oxygen Concentration (mg/L)					
	0 day new	2 day old	6 day new	8 day old	15 day new	17 day old
Control	9.0	8.0	8.8	8.7	9.0	8.4
100.0	9.0	8.0	8.8	8.7	9.1	8.6

new :freshly prepared test solutions

old :test solutions after 2 days exposure

Table 10 pH during a 21-day *Daphnia* Reproduction Inhibition Test (Semi-Static Test)

Nominal Concentration (mg/L)	pH					
	0 day new	2 day old	6 day new	8 day old	15 day new	17 day old
Control	7.6	7.6	7.6	7.6	7.8	7.5
100.0	8.0	7.6	8.0	7.6	7.9	7.6

new :freshly prepared test solutions

old :test solutions after 2 days exposure

Table 11 Total Hardness(as CaCO_3) during a 21-day *Daphnia* Reproduction Inhibition Test (Semi-Static Test)

Nominal Concentration (mg/L)	Total Hardness(as CaCO_3 ,mg/L)					
	0 day new	2 day old	6 day new	8 day old	15 day new	17 day old
Control	254	252	253	251	245	252
100.0	250	253	250	249	246	247

new :freshly prepared test solutions

old :test solutions after 2 days exposure

付 属 資 料 - 1

希釈水(M4 調製水)

(全 1 頁)

Appendix 1 M4 medium

Salts and Vitamines	Concentration (mg/L)
H_3BO_3	2.860
$\text{MnCl}_2 \cdot 4\text{H}_2\text{O}$	0.361
LiCl	0.306
RbCl	0.071
$\text{SrCl}_2 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$	0.152
NaBr	0.016
$\text{Na}_2\text{MoO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$	0.063
$\text{CuCl}_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$	0.017
ZnCl_2	0.013
$\text{CoCl}_2 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$	0.010
KI	0.00325
Na_2SeO_3	0.00219
NH_4VO_3	0.00058
$\text{Na}_2\text{EDTA} \cdot 2\text{H}_2\text{O}$	2.5
$\text{FeSO}_4 \cdot 7\text{H}_2\text{O}$	0.996
$\text{MgSO}_4 \cdot 7\text{H}_2\text{O}$	123.3
KCl	5.8
NaHCO_3	64.8
NaNO_3	0.274
KH_2PO_4	0.143
K_2HPO_4	0.184
Thiamine hydrochloride	0.075
Cyanocobalamine(V.B ₁₂)	0.001
D(+)Biotin(V.H)	0.00075
$\text{CaCl}_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$	293.8
$\text{Na}_2\text{SiO}_3 \cdot 9\text{H}_2\text{O}$	10.0

付 属 資 料 - 2

試験液の分析方法

(全5頁)

試験液の分析方法

1 試験液の分析方法

各試験容器より試験液1.0～1.5mL をバイアル瓶に採取する。

試験液の濃度が 100mg/L を超える場合は、蒸留水で希釈して分析に供する。

GCのオートサンプラーにセットして一定量を自動注入する。

検量線から被験物質濃度を求める。

2 ガスクロマトグラフィー(GC)測定条件

カラム	: TC-FFAP、0.53mmID × 15m
カラム温度	: 130℃
検出器	: FID
検出器温度	: 220℃
注入口温度	: 220℃
注入量	: 1 μ L
キャリアガス	: He
流量	: 20mL/min(室温)

3 検量線

標準原液を希釈して、定量限界付近から予想測定濃度が含まれる5ポイントの標準液を測定し、直線性を確認した。 [Figure 1(p.33)]

測定日毎に標準溶液(1ポイント)の測定を行い、この検量線により定量した。

4 添加回収試験

希釈水に標準液の一定量を添加して、回収率を求めた。

2-メチル-2-プロペンアミド 20mg/L 標準液の回収率は97.0%であった。

5 クロマトグラム

代表的ないくつかのクロマトグラムを示した。

[Figure 2(p.34～p.36)]

Appendix 2

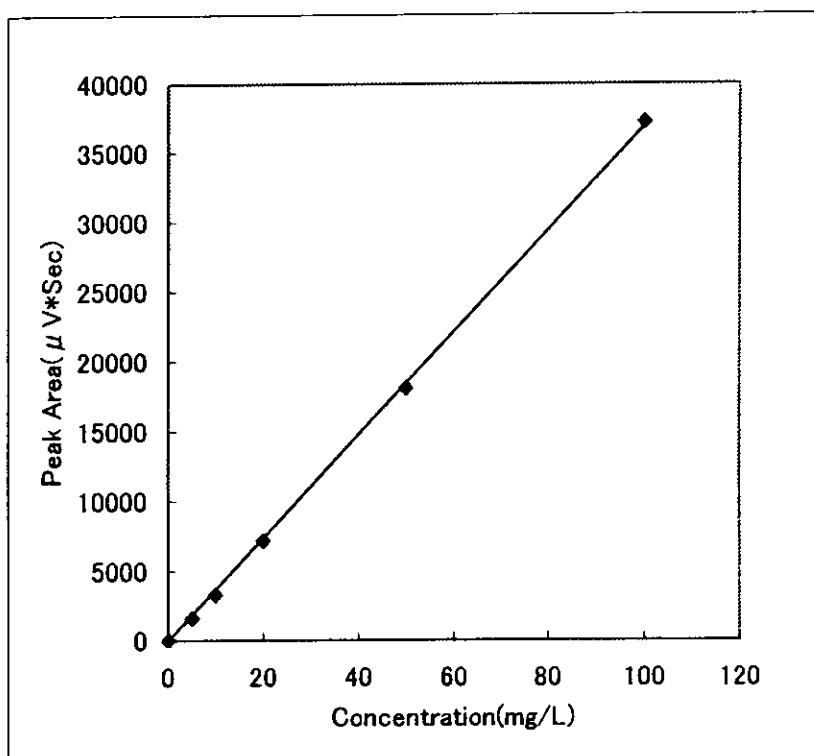
Figure 1 Calibration Curve of 2-Methyl-2-propenamide by GC Analysis

Input Data		
No.	Concentration (mg/L)	Peak Area (μ V·sec)
1	5	1642
2	10	3315
3	20	7153
4	50	18129
5	100	37245

$$X(\text{Concentration}) = 0.002704 \times Y(\text{Peak Area})$$

$$r^2 = 0.9996$$

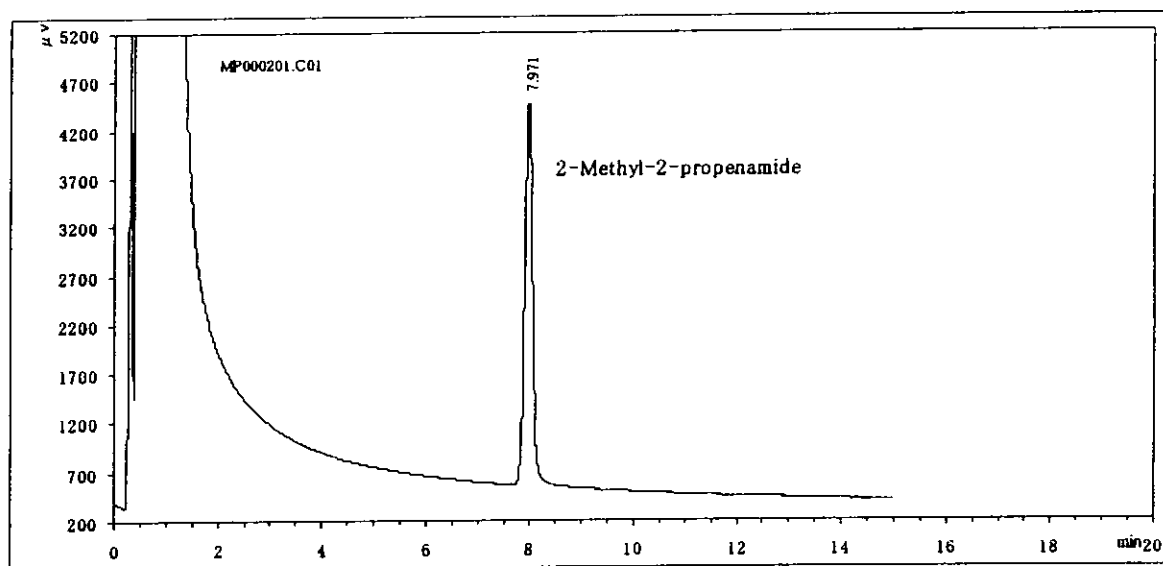
r^2 :coefficient of correlation



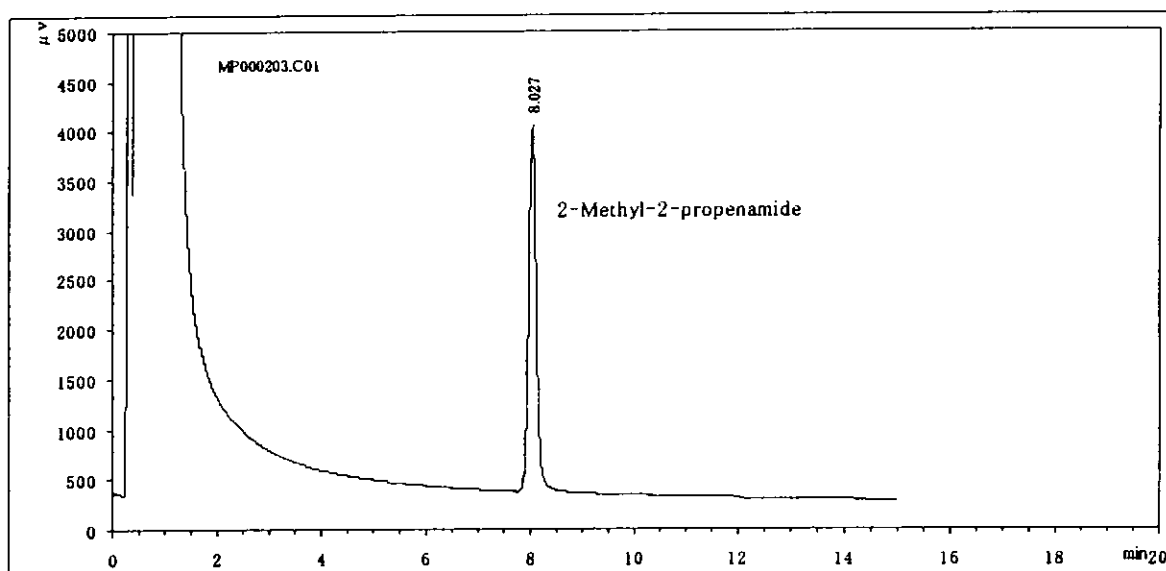
Appendix 2

Figure 2 Representative Chromatograms

(1) Standard 100.0 mg/L Day 0



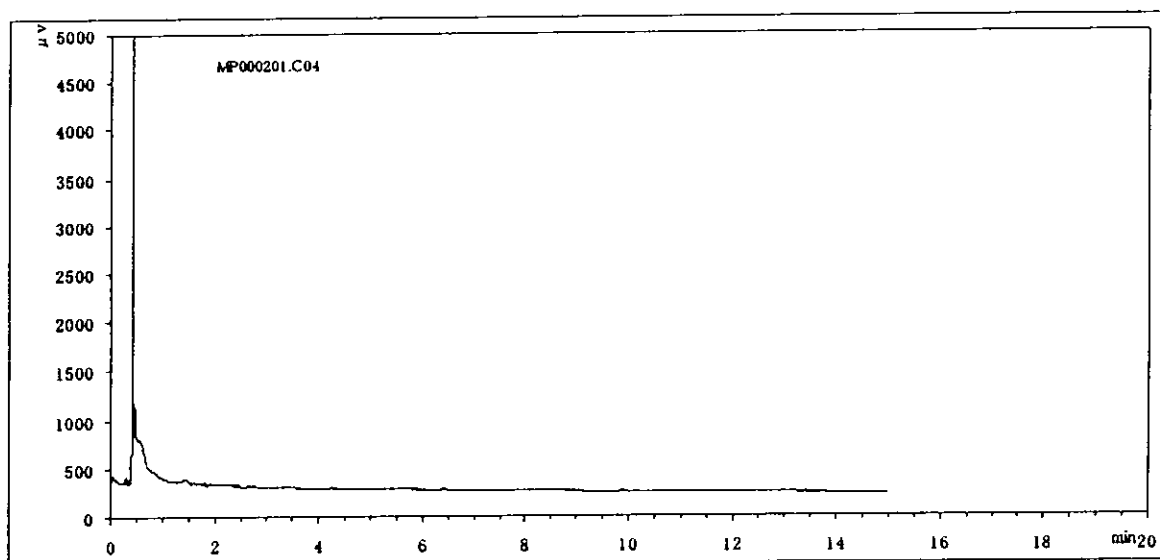
(2) Standard 100.0 mg/L Day 2



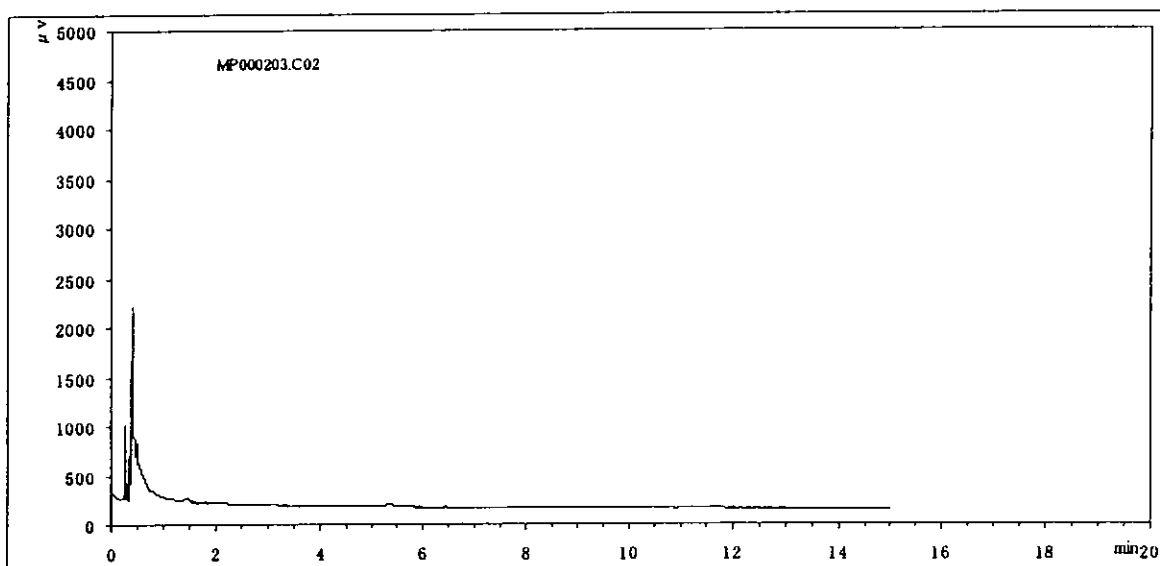
Appendix 2

Figure 2 Continued

(3) Control ; Day 0 (new)



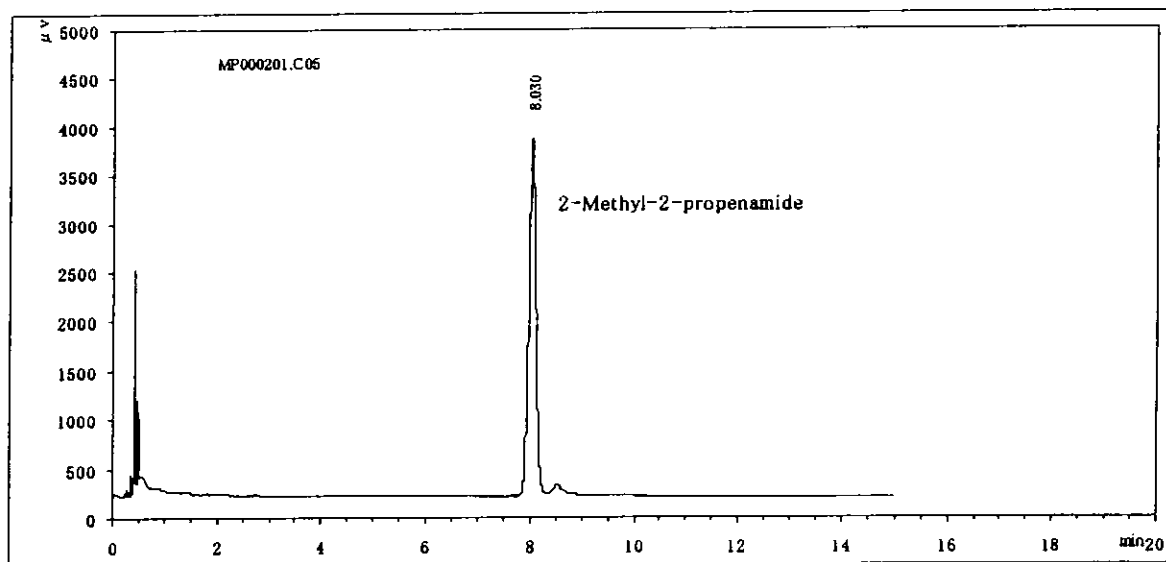
(4) Control ; Day 2 (old)



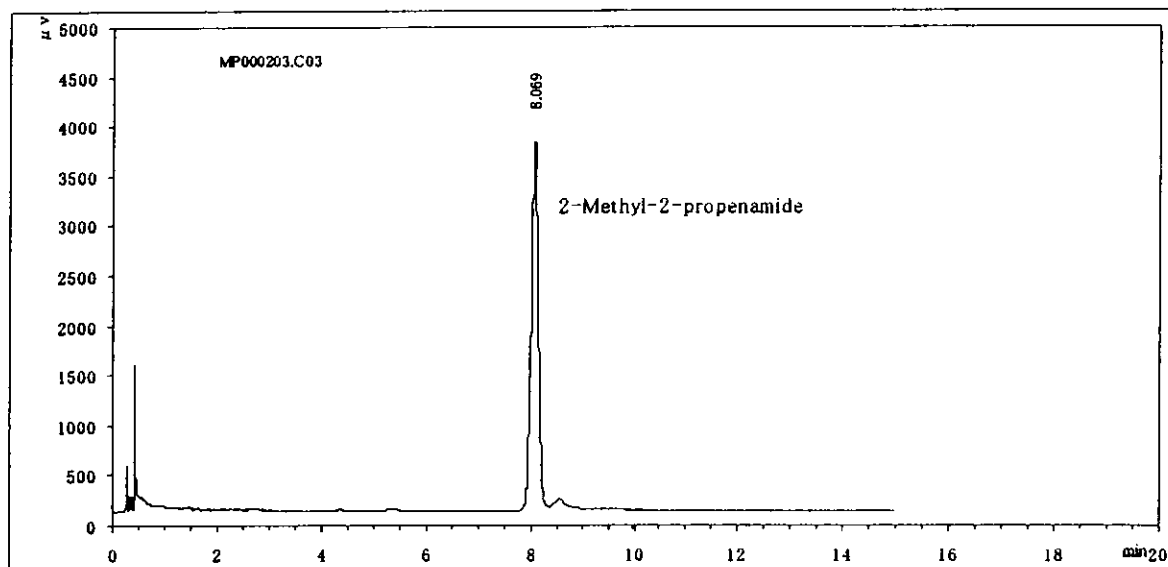
Appendix 2

Figure 2 Continued

(5) 100.0mg/L nominal; Day 0 (new)



(6) 100.0mg/L nominal; Day 2 (old)



付 属 資 料 - 3

ミジンコの観察結果

(全2頁)

Appendix 3-1 Result of Reproduction Test

(Test Chemical: 2-Methyl-2-propenamide)

(Chemical Conc.: 0.0 mg/L, Dispersant conc.: 0.0 mg/L)

Rep. No.	Counts	Time																						Total			
		2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22					
		1d	2d	3d	4d	5d	6d	7d	8d	9d	10d	11d	12d	13d	14d	15d	16d	17d	18d	19d	20d	21d					
1	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--				
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	13	1	0	0	14	0	0	18	0	--			
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	3	3	5	5	5	18	19	19	19	33	33	33	51	51	51			
2	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--				
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	27	0	0	39	0	--				
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5	5	5	32	32	32	71	71	71				
3	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--				
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	6	1	0	0	8	0	0	24	0	--				
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	2	3	3	3	3	9	10	10	10	18	18	18	42	42	42				
4	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--				
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	21	--				
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	24	24				
5	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--				
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5	0	0	24	0	0	38	0	0	40	0	--			
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	7	7	7	31	31	31	69	69	69	109	109	109			
6	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--				
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	--				
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	7				
7	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--				
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	39	0	0	39	1	0	--				
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	35	35	74	74	74	113	114	114	114				
8	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--				
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	18	0	0	24	0	0	0	22	0	--				
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	20	20	20	44	44	44	44	66	66	66				
9	P generation	Live	1	1	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--				
	F1 generation	Live	0	0	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--				
	Cumulative reproductivity		0	0	0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--				
10	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--				
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	4	24	0	0	36	0	0	33	0	--				
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	18	22	46	46	46	82	82	82	115	115	115				
The time (days) to first brood:			1;	8 days,				2;	11 days,				3;	7 days,				4;	18 days,				5;	8 days,			
			6;	20 days,				7;	13 days,				8;	10 days,				9;	- days,				10;	11 days,			

Appendix 3-2 Result of Reproduction Test

(Test Chemical: 2-Methyl-2-propenamide)

(Chemical Conc.: 100.0 mg/L, Dispersant conc.: 0.0 mg/L)

Rep. No.	Counts	Time																					Total
		2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	
		1d	2d	3d	4d	5d	6d	7d	8d	9d	10d	11d	12d	13d	14d	15d	16d	17d	18d	19d	20d	21d	
1	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	34	0	--
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3	5	5	5	39	39	39
2	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	45	0	--
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	29	29	74	74	74
3	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	--	--	--
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	--	--	--
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	--	--	--
4	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	0	0	0	27	0	0	17	0	--
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	4	7	7	7	7	34	34	34	51	51	51
5	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	12	0	0	42	0	--
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	15	15	15	57	57	57
6	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	40	0	0	33	0	--
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	5	5	5	5	45	45	45	78	78	78
7	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	16	0	0	22	0	0	37	0	--
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17	33	33	33	55	55	55	92	92	92
8	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	31	0	--
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	33	33	64	64	64
9	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	--
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	34	0	0	37	0	--
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	37	37	37	74	74	74
10	P generation	Live	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	--	--	--	--
	F1 generation	Live	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	--	--	--	--
	Cumulative reproductivity		0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	--	--	--	--
The time (days) to first brood:			1;	13 days,		2;	17 days,		3;	- days,		4;	8 days,		5;	11 days,							
			6;	7 days,		7;	11 days,		8;	17 days,		9;	11 days,		10;	- days,							